

～ 中津のふくし応援誌 ～

社協だより なかつ

いつもそこに笑顔がある
やっぱり“支え合い”って大事。

2016
June 6

発行：中津市社会福祉協議会



中津も宇佐も豊後高田も！
サロンだよ！全員集合！

住民も専門職もつながろう
生活を支援するしくみ

今年度の社協の取り組み
H28年度事業計画・予算

ステキなちいきつと
山国・山崎光司さん

表紙：山国ふくし男塾 記事は最終ページにあります。

2016年6月 第65号

地 域 福 祉 情 報

サロンだよ！全員集合！！

「サロンだよ！全員集合！！」の掛け声とともに始まった寄り合いの場交流研修会。県北地区のサロン同士のつながりや魅力あるサロンの推進を目的として開かれ、今年は宇佐市と豊後高田市のサロンの方々も加わり、139名の方々が参加されました。

今回は3市の各サロンがそれぞれ特徴のある活動を発表し、またその後はサロンで使える体操やレクリエーションの実演を行いました。最後に参加者同士で意見交換を行ない、和やかなムードの中では終了しました。参加された方からは、「体操やレクリエーションは普段の活動に取り入れたい」「他のサロンの活動内容を聞けて参考になった」といった声が聞かれ、今後のサロン活動の参考になったようでした。

今回の研修

会をきっかけに、市の枠を超えたサロン同士のつながりと各地域でのサロン活動が更に活発になっていくことを期待しています。



体操のようす



グループに分かれて意見交換



活動発表のようす

如水

如水サロンふれ愛 100回記念

100回目の開催おめでとうございませう！如水サロンふれ愛は今年2月16日に100回を迎えました。

このサロンは、地域福祉計画・活動計画の作業部会をきっかけに、平成19年6月に立ち上がりました。地域の高齢者、障がいのある方、子ども達の交流（ふれ愛）の場づくりを目的とし、毎月第3火曜日に如水コミュニティセンターで開催されています。この9年もの間、休むことなく会を継続され、今では如水における交流の場としてなくてはならない存在になっています。

当日は体操や手品鑑賞、レクリエーションを楽しみました。またみなさんで昼食を囲み、和気あいあいとした雰囲気の中で100回記念の会を終りました。スタッフの方々は今後も150回、200回と会を永く続けていきたいと力強く話されました。



みんなでタオル体操



スカットボールで気持ちを「すかっ」と！

地 域 福 祉 情 報

豊 田

地域で“支え” 地域で“守る命”

上宮永四丁目では、地震などの災害に備えて地域内で助け合える体制づくりを進めていくために、平成24年から自主防災組織による防災マップの作成や避難訓練などを積極的に行っています。

2月14日、継続的な取り組みの一つとして防災マップの更新作業を行いながら、緊急時に手助けが必要と思われる方の共有などを行いました。

こうした継続した取り組みにより、災害に強い地域づくりの基盤となり、人とひととのつながりの輪が広がっています。



《自主防災組織の役割》

大地震、津波などが発生した場合、消防車や救急車がすぐに来るとは限りません。そこで、自主防災組織（近隣同志の助け合い）が中心となって初期消火活動、救助・救出活動を行うことが重要となっています。

*数々の災害から、日常の地域の状況（つながり）が災害時にも反映されることが言われるようになっていきます。

本耶馬溪

温もりのある元気な 本耶馬溪町を目指して！

跡田介護コミュニティの里づくり協議会は、地区の自治委員、民生委員、施設職員、地元有志で組織され、活動内容として同地区にある施設「グループホームあんず」で行われる交流イベントの主催を担っており、これまでに「そうめん流し」「交流秋まつり」「年末もちつき大会」「認知症研修会」など、地域に根付いた活動を行っています。

イベントを通して、介護に関心を持つきっかけづくりや施設に地域住民が集うことによるつながりづくり、また施設で習った介護技術を家庭や地域で発揮することで、お互いに支え合いぬくもりのある元気なまちづくりを目指しています。

会では、認知症になっても住み慣れた場所で安心して暮らせる地域を強く願い、今後も活動が続いていきたいとのことでした。



耶馬溪

認知症について考える

2月6日、柿坂公民館にて柿坂地区見守りネットワークの皆さんが「認知症について学びたい」という思いのもと、「認知症サポーター養成研修」を行いました。

地域包括支援センター職員より、認知症の基礎知識、対応法、専門職との関わりなどについて説明があり、新たに20名の方がサポーターとなりました。「認知症本人の周辺症状の理解を深めることも必要だが、支える家族の気持ちに寄り添うことが大切ではないか」など活発な意見交換が行われました。

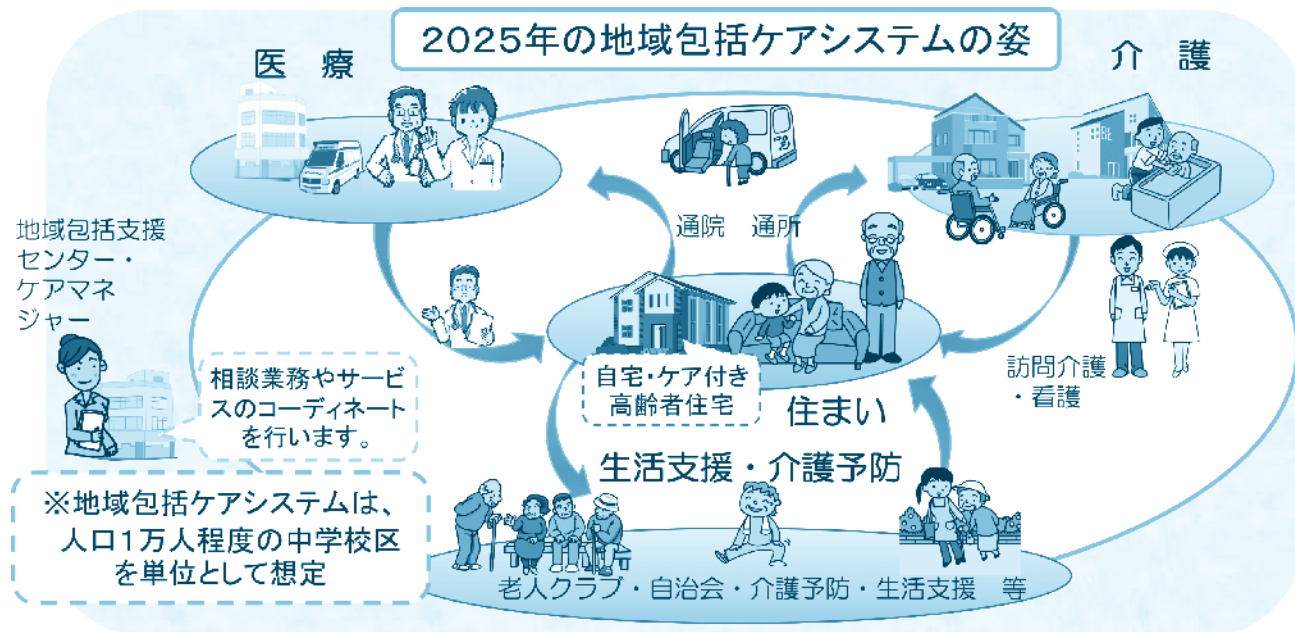
日頃の見守り活動が早期発見、対応につながっていることを確認し、不安なことがあればその都度相談し合えるような関係づくりを住民同士や専門職が連携し作っていくことで孤立させない、優しい地域を作ってゆこうと話合いました。

ひとりで悩まず、皆で支え合っているように集落の中で協力者を募ってこうと確認しました。



生活を支援するしくみ

いくつになっても安心して生活できる地域づくり ～支え合う地域へ～



市内の地域サロン（3ヶ所）に通い、利用している高齢者やボランティアの方々と接する中で実情の把握。顔の見える関係づくり

住民主体の地域での支え合いのひとつである「住民型有償サービス」の新たな団体の立ち上げ支援（2地区）



地域での支え合いに携わる人財の育成
「支え合いスタッフ養成研修」及びフォローアップ研修の開催



地域の資源と専門職の連携 交流会の開催

元気☆いきいき！週一体操教室の立ち上げ支援

地域の中での
寄れる場所づくり
シニアほっと元気
Station「よりあ」開設（1ヶ所）



市内の地域包括支援センターにて地域の課題等の聞き取り

平成27年度の介護保険制度改正により中津市社会福祉協議会では生活支援体制整備事業を受託し、いくつになっても安心して生活できる地域づくり＝地域包括ケアシステムの構築という趣旨のもと、「住民主体の地域づくり」に関わる「生活支援コーディネーター」を配置しています。

左記の図はこれまでの取り組みです。
このような取り組みは、地域の皆さんやさまざまな専門職等たくさんの方々に支えられ、行われています。
現在の地域サロン、住民型有償サービスも地域の中での支え合い活動ですが、これらの活動はまだ市内全域には広がっていません。様々な資源があり、困った時には地域の中で支え合うことができ、年齢を重ねても生き生きと過ごせる中津市を地域の皆さんと構築していきます。

生活を支援するしくみ

中津市市民後見人候補者とは

中津市市民後見人養成講座

中津市では平成25年度より中津市市民後見人養成講座を開催。現在、養成講座を修了された30名の方が中津市市民後見人候補者名簿に登録されています。

〈養成講座修了者のその後〉

市民後見人養成講座

中津市市民後見人候補者名簿登録

毎年、フォローアップ研修を受講し、中津市市民後見人候補者名簿の登録を更新



市民後見人とは？

判断能力が不十分な認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者の権利を守る成年後見活動を担う市民の方をいいます。本人に寄り添い、専門職にはできない身近にいる市民だからこそできる支援をしています。

中津市社会福祉協議会のあんしんサポートや法人後見の支援員として活動されている方や、今は仕事や他活動をしていて本格的にはできないけれど市民後見人の周知やフォローアップなどの学習に取り組んでいる方などさまざまな形で地域の担い手となって活躍されています。

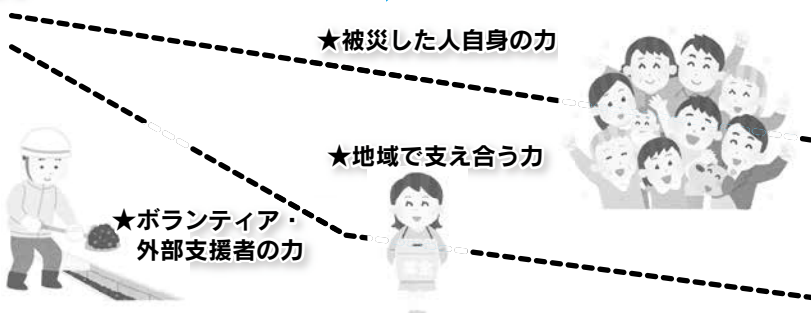


災害「支援したい」をカタチにする

4月の熊本・大分地震により、多くの方々が被災し、復旧活動は今も続いています。家族を亡くされた方、家を失った方、心の不安を抱えたままの方、これからどうしてよいかわからなくなっている方など、災害時には被災の程度は違っても多くの方が困っている状況があり、その状況に応じた支援内容が求められています。

生活再建・安心を取り戻す

発災



最初、被災した人もその地域も力を失っている場合、ボランティアの力が重要です。そして、大切なのはその地域の力が高まる支援の仕方です。

「支援したい」という気持ちをカタチにするには、被災地域の状況を把握することが最も重要です。一般的には避難所運営の手伝い、瓦礫の片付け、そして募金などが多くの力が必要となります。混乱期には情報がわからないことも多いのですが、ボランティアや外部支援者の力が必要な場合は、被災地の社協や災害ボランティアセンターが情報発信をします。

生活は、そこに暮らす方々と地域の力によって成り立つものです。被災しても元々の力が備わっている場合は、多くの外部支援者を求めない場合もあります。

これからの被災地の地域の状況に寄り添った支援をお願い致します。

施設活動情報

豊寿園 地域防災教室開催

豊寿園では3月12日(土)に中津消防署職員の指導のもと、鶴居・大幡地区の住民の皆さん、ボランティアの方々、入所者・社協職員、総勢88名の参加により、「初期消火」「救急法」「応急手当」の訓練を実施しました。

初期消火では、消火器の種類や使い方の説明を受けて実際に水消火器を使用し、救急法では(AED)を使った心肺蘇生を体験、応急手当の方法なども学びました。昼食は地域福祉系の指導により、ハイゼックス炊飯袋を使っの炊飯方法の説明を受け、実際にながらに(株)富士産業さんの協力による炊き出しも行いました。今回2回目の防災教室とあって、参加された住民の皆さんは積極的に、また真剣に取り組んでいました。

日頃からこのような訓練を重ねることで、災害時も冷静に行動が出来るのではないのでしょうか。災害はいつ起こるか分かりません。いざという時に備え、豊寿園では今後も地域防災教室を開催していきたいと考えています。



初期消火の訓練



ハイゼックス炊飯袋での炊き出し訓練



心肺蘇生法の訓練

生活サービス情報

ファミリー・サポート・センター 開設中!

ファミリー・サポート・センターでは、地域ぐるみでの子育て支援や、仕事と育児を両立できる環境を作することを目的とした、会員制の有償の支えあい活動を行っています。子どもの預かり等の援助を受けたい方『おねがい会員』と援助を行う方『まかせて会員』が、アドバイザーを中心として、会員相互の信頼関係をもとに支えあう仕組みです。



現在こういう時に利用されています。

- ・ 残業で子どもの迎えに行けない…
- ・ 病院に行く間、見ていてほしい…
- ・ PTAに連れて行けない…
- ・ 美容院に行きたいけど… 等々

中津市が発行している『おおいた子育てほっとクーポン』も利用できます。
詳細については、下記へお問い合わせください。

○お問い合わせ・お申込み先

中津市ファミリー・サポート・センター

住 所：中津市三光成恒 421 番地 1 (三光福祉保健センター内)

電話番号：0979-27-7715 (平日午前 8 時 30 分から午後 5 時まで)



ボランティア情報

『2016夏 ボランティア体験月間』開催のお知らせ

今年も、中津市内の福祉施設や地域で活動しているボランティア団体の協力により、『2016 夏のボランティア体験月間』が実施されます。夏の一定の期間、ボランティア活動を通じて人とひととの出会いを試みませんか？きっと素敵な笑顔に出会える夏になると思います！！



昨年度ボランティア活動をした方からの声です！！

- ・新しい事にチャレンジしてみたいと思ったから
- ・コミュニケーションをとるのが苦手なので克服したい
- ・幅広い年代の方と触れ合いたい
- ・将来の夢が見えてくるから
- ・夏休みの思い出になった



ボランティア・市民活動センターでは、随時ボランティアに関してのご相談を受け付けています。あなたも、ボランティア活動を通じて新たなつながりをつくって、きれいな笑顔の花を咲かせてみてはいかがでしょうか？

【対象者】 ボランティア活動に興味のある方

【日 時】 平成28年7月21日～8月31日の間

【申し込み期間】 平成28年7月1日～随時

【問い合わせ・申し込み】 中津市ボランティア・市民活動センター TEL：23-2095

第1回中津市ボランティア・市民活動センター運営委員会を開催しました。

3月4日、中津市ボランティア・市民活動センターに運営委員会を設立し、第1回目の運営委員会が開催されました。

委員会では、ボランティア市民活動の推進に関わる様々な事業運営について、多様な立場の考え方や意見を反映させることで、市内のボランティア活動の更なる活性化や住民に開かれたセンターを目指しています。

第1回 中津市ボランティア・市民活動センター運営委員会



中津市ボランティア・市民活動センター 運営委員の紹介

(写真左上から)

足利委員、瀬口委員、原田委員、村野委員、
原口委員、安倍委員長、北山社協会長、橘副委員長、
吉田委員

平成28年度事業計画【主な内容】

【事業方針】

中津市社会福祉協議会では、福祉の里づくりを基本とした「暮らし続けたいと思う、思える地域づくり」を目指して、地域の課題や生活課題に対し、さまざまな福祉事業に取り組み、多様な関係機関・団体との協働による支援を強化していきます。

【基本方針】

Ⅰ総合的な相談支援体制をつくります

(1) 多様なケースに対応できる総合的な相談支援体制づくり

- ・多様なケースに対応するワンストップ窓口の設置
- ・生活困窮者の相談対応事業所との連携充実

Ⅱ新たな福祉サービスを開発、展開します

(1) ニーズを抱える高齢者や障がい者の生活を支援するサービスの開発

- ① その人の生活を支える住民型有償サービスの立上げ支援
- ・制度の狭間で対応できない生活サポートを地域の支え合いにより行う住民型の有償サービスの立上げ支援。

(2) 地域の実情に応じた地域包括ケアシステム構築に向けての体制整備

- ・実情把握や資源開発に向けて、生活圏域ごとの協議体の発足と第2層（中学校単位とする）生活支援コーディネーターの発掘、養成
- ・サロンの多機能化による介護予防地域基盤の強化
- ③ 認知症高齢者の支援体制の充実

- ・住民の連携による認知症SOS声かけ模擬訓練の実施
- ・認知症高齢者や家族、地域住民の支援を目指したオレシカフェの充実

(2) 介護事業などを活かした、地域に必要とされるサービスの展開

- ① 地域と連携する拠点の機能強化
- ・地域サロン等での機能訓練やレクリエーション活動による介護予防推進
- ・尊厳を大切にしたい生きがいづくり活動や地域交流の推進
- ② 介護予防プログラムの充実による日常生活総合事業の推進
- ・専門職によるプログラムの充実を図り、高齢者が自立した日常生活を送れるよう支援
- ③ 利用者が快適で安心・安全な生活を目指したサービスの向上
- ・職員の技術を高めるための専門的な研修の開催
- ・入所者の要介護予防の為に機能回復訓練等の実施

Ⅲ生きがいにつながる福祉活動とボランティア活動を応援します

(1) 地域の社会資源を活用した高齢者・障がい者の生きがいづくり

- ① 高齢者・障がい者が交流できる地域行事の企画・支援
- ・寄り合いの場（サロン）活動の充実、強化
- ② 地域の社会資源である施設における高齢者の生きがいづくり
- ・創作活動・販売などによる自主財源（地域還元・貢献）の確保
- ・地域活動への参加による自立促進や孤独感の解消

(2) ボランティア・市民活動センター機能の強化

- ① ボランティア市民活動センター運営委員会の充実
- ・市民参画によるボランティア・市民活動のありかたの検討

Ⅳ地域福祉のネットワークを広げます

(1) 地域の人財（リーダー）づくり

- ① 専門的な知識を身につける講座の開催・支援
- ・市民後見人候補者のスキルアップ研修の実施
- ② 地域福祉コーディネーターの養成
- ・地域福祉コーディネーター養成（基礎・応用）講座の開催
- ③ 地域の支え合い活動を支援する人財の育成

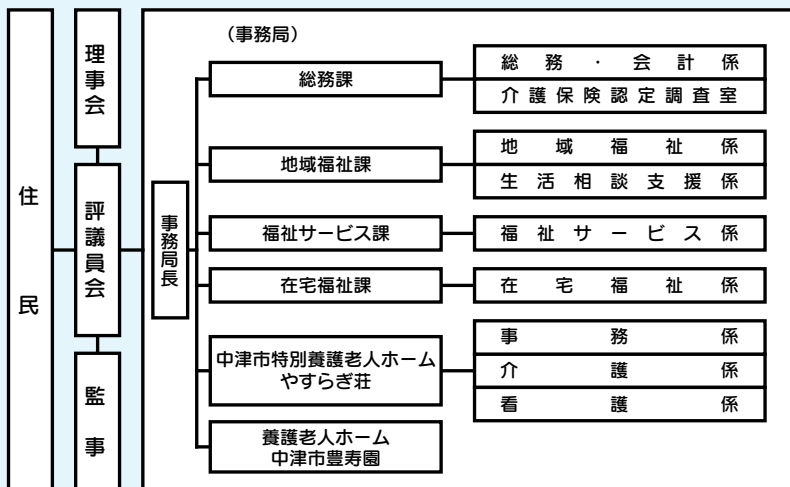
- ・地域支え合いスタッフ養成研修の開催
- (2) 見守りや災害対応ができる住民参加の地域福祉ネットワークづくり
- ① 地域住民が集まる場と機会の充実
- ・第3次中津市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に向けた作業部会への支援
- ② 広域（15地区単位）ネットワークと小地域ネットワークの組織化と連携の推進
- ・地域福祉ネットワーク協議会の全域化（地域福祉圏域一五地区）
- ・ネットワークにつながる見守り活動の推進
- ・防災や減災に向けた避難訓練への支援
- (3) 地域の活動や資源に関する情報収集・発信の充実
- ・孤立ゼロに向けた避難訓練への支援
- ・地域と一体となった防災訓練等の実施による防災意識の高揚
- √住民の皆様の活動を支援するため、効果的・効率的な経営基盤をつくります
- (1) 災害時の地域ニーズに対応できる組織体制づくり
- ・安否確認システム（仮称）の構築
- ・法人全体、エリア、事業所単位での災害時初動マニュアル作成と体系化
- (2) 多様なニーズに対応するための職員間の連携、情報共有の強化
- ・社協ホームページにおける職員専用ページの充実
- ・横につながる職員会議の開催
- (3) 地域に信頼される職員を目指した職場環境の改善
- ・衛生委員会の取り組みの充実
- ・IT活用で効果的・効率的な業務運営と利用者本位の福祉サービス提供
- (4) 福祉の専門集団としての意識を醸成するための研修体系の確立
- ・計画的な職制別研修会の開催
- ・基礎力向上のための職員全体研修会の開催

- (5) 地域福祉事業に有効活用できる自主財源を確保するために多様な取り組みの実施
- ・特養待機者の早期入荘に繋がる効果的な入所対策の取り組み
- ・地域での支え合いによる福祉活動充実の取り組み
- (6) 地域に密着した地域福祉事業運営方針と収支管理体制とが一体となった経営体制の確立

- ・在宅福祉課の創設による介護保険事業の経営基盤強化
- ・PDCAサイクルを活用した経営会議の開催による健全運営
- ・財政の健全化を図り安定した財政運営基盤の確立による施設の整備などの充実
- ・経営に必要な知識を取得するための研修会の実施

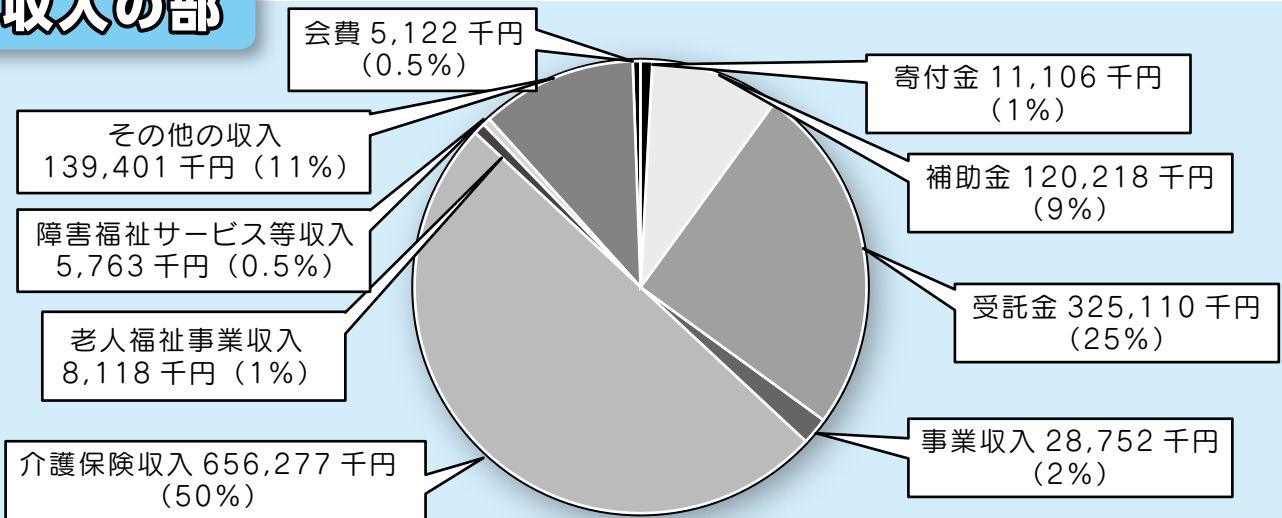
中津市社会福祉協議会組織体制図

平成 28 年 4 月 1 日より



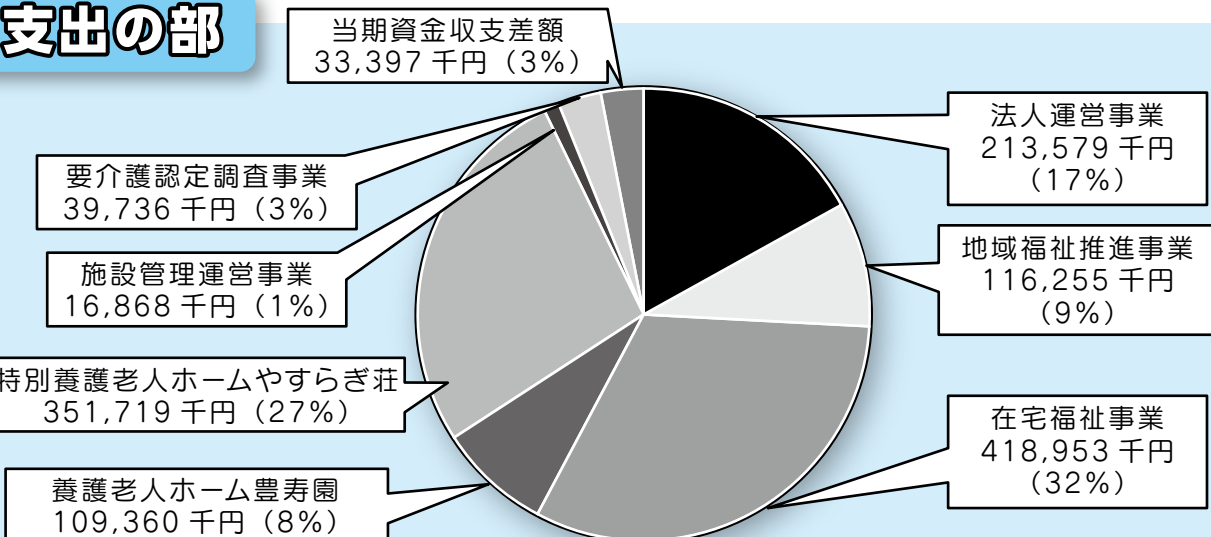
平成28年度 当初予算額：1, 299, 867千円

収入の部



会 費	社協一般会費、特別会費	介 護 保 険 収 入	在宅介護や施設介護による収入
寄 付 金	香典返し、個人・団体からの一般寄付、物品寄付	老人福祉事業収入	措置事業における事業収入
補 助 金	市からの法人運営や自主事業にかかる収入	障 害 福 祉 サ ー ビ ス 収 入	障害者自立支援法にかかわる事業収入 及び利用料収入
受 託 金	市や大分県社協からの受託事業の収入	そ の 他 の 収 入	預金利息、その他の活動収入
事業収入	各種事業の利用料収入ほか		

支出の部



法 人 運 営 事 業	法人の管理運営費	や す ら ぎ 荘	特別養護老人ホームの運営
地域福祉推進事業	地域福祉ネットワーク支援、 各種相談援助事業、広報啓発	豊 寿 園	養護老人ホーム豊寿園の運営
在 宅 福 祉 事 業	デイサービス、ホームヘルプ、 訪問入浴、居宅介護支援、障がい福祉 サービスなど	施設管理運営事業	教育福祉センター、 生活支援ハウス、児童館 その他施設管理
		要介護認定調査事業	介護保険認定調査

お知らせコーナー

平成28年度 地域福祉講座 『支え合い住みやすい地域づくり向け』

今後、支え合い、住みやすい地域づくりに向け、生活支援サービスを地域で担うことが期待されています。平成28年度に耶馬溪地区・山国地区で住民型有償サービス団体が立ち上がるなど、地域での生活支援サービスの需要の高まりが予想される中、住民型有償サービスをはじめとした地域での支え合いについて、改めて意識啓発と目指す地域の姿の共有を図り、今後の支え合う地域づくりについて考える機会になればと考えています。是非、ご参加下さい。

- 日 時：平成28年6月23日（木）
午後2時～3時30分（受付：午後1時30分～）
- 場 所：本耶馬溪公民館
- 内 容：①講演 沖代どんぐりサービス 代表 吉田日出子氏
②実践事例の紹介他
- 参加費：無料
- 締 切：6月22日（水）

《問い合わせ》中津市社会福祉協議会（社協本耶馬溪 TEL 53-2245）



“すてきな” らいきつと (地域人)

やま さき みつ し
山 崎 光 司 さん

Vol.27

山崎さんは、山国地区の地域福祉ネットワーク協議会「“源流の郷” やまくに福祉の会」の会長として、日々福祉活動にご尽力されています。その中で、山国地区が段々と高齢化になるなど、地域でお互いに支え合える仕組みが大切だと考え、住民型有償サービスの立ち上げの必要性を感じました。その想いを共有した皆さんと協議を重ね、ちょこっと手伝ってほしい時に、地域の皆さんが安心して気軽に利用できる住民型有償サービス「山国つゆくさサービス」を発足し、5月から活動を進めています。このような、みんなで助け合えるほんわかとした温もりのある地域づくりを目指していきたいとのことでした。



最近よく、何かと「和顔愛語」という言葉を目にし、耳にする機会が多いのですが、和顔というのはいつもにこやかで穏やかな表情、愛語は慈愛のこもった言葉を話すことだそうです。そもそも、優しい言葉には人生を一転させる働きがあるそうです。

日々、生活していると楽しいことばかりではなく、つらいこと、悲しいこと、苦しいことに度々出会います。そうすると、つい泣き言や愚痴・不平などが出て、お互いに責め合ったり争いが起こりがちです。こんな時こそ「和顔愛語」を思い出し、日々の生活を明るく楽しく元気よく過ごせるように気を付けていきたいものです。
(M.T)

《表紙》山国地域福祉講座 『山国ふくし男塾』

高齢化が進む山国地区において、シニア世代の力を地域活動に活かしていただこうと、2月22日に「コアやまくに」で男性対象の地域福祉講座「山国ふくし男塾」を開催しました。

参加したのは、山国の50代から80代の34名の男性のみなさん。「あなたの力を地域に」をテーマを基に東九州龍谷高等学校の安部恭一校長先生による手話や歌を交えたお話、包括支援センター社協から山国で起こっている現状の報告、グループごとに分かれての話し合いなど、盛りだくさんの内容でしたが、終始目を輝かせ熱心にお話をする皆さんの姿に、改めて山国のシニアパワーの力強さを感じました。